

頻出表現② 名詞・代名詞

1. 【～が多い】

我々が食べている野菜には、日本の風土や日本人の味覚に合うように改良が重ねられてきたものが多い。
(青山学院大'18)

2. 【一部】

銀行の窓口での会話には、他人に聞かれたくない情報も含まれる。情報の取り扱いには注意が必要である。
(青山学院大'15)

3. 【戦争】

ぼくは第二次世界大戦中に東京で生まれたんですが、終戦後まもなくは食べるものがなく、砂糖は特に貴重でした。
(青山学院大'20)

4. 【都会と田舎】

あるアメリカ人の日本学者が言った。「日本人のふしぎなところは、いなかを一段下に見ることですね。アメリカ人はニューヨークに住ぶよりも、いなかに住みたがります。日本人の場合、逆ではないでしょうか。」
(東京大'96)

【解答】頻出表現② 名詞・代名詞

1.

★ 「野菜」は vegetable(s) で 可算名詞。一方「肉」は meat で 不可算名詞 です。肉の種類を表す pork, beef, chicken, lamb, mutton は基本的に 不可算名詞。なお chicken や lamb は可算名詞だと「一羽のひよこ」、「一頭の子羊」。

★ 「～が多い、～が少ない」など、日本語では数量表現を 文末に置く ことが多いです。一方、英語では 主語 が数量表現を担うのが普通です。

例) 日本人の中には寿司が嫌いな 人もいる

Some Japanese people hate sushi.

「我々が食べている野菜には、...ものが多い」は、Many of the vegetables we eat are...。all, most, many, some, (a) few/little など形容詞としても、代名詞としても使うことができます。不定の名詞はそのまま後続し、特定された名詞と代名詞は of を付けて後続します(all は of を省略できます)。

量や割合の表現+不定の名詞

all people
most people
some people

量や割合の表現+of+特定された名詞、代名詞

all (of) my friends
most of my friends
some of my friends

★ 「～に合う」は suit O。「改良が重ねられてきた」は have been improved many times など。「日本の風土」は the Japanese climate, Japan's climate。climate は climax(cli:傾き)と同語源で、「傾向」が基本義。「(天気の傾向→)気候」、「(その土地の傾向→)風土」。the present economic climate「現在の経済の傾向」など。「味覚」は taste。

解答例 Many of the vegetables we eat have been improved many times to suit Japan's climate and the Japanese taste.

2.

- ★ 「銀行の窓口での会話の一部は、他人に聞かれない情報だ」ということ。「一部」を表す **some** を主語にします。at the teller counter で「銀行の窓口での」。(a) counter で「窓口」。(bank) teller は「出納係」。出納は現金の出し入れのこと。ATMは Automatic Teller Machine(現金自動預け払い機)。

或いは和文の通り、conversations at the bank teller's counter include ~としても可。

- ★ 「他人に聞かれない情報」は information (that) you do not want others to hear。関係詞節の主語は総称人称 you で、「聞く」は「耳に入ってくる」の意では **hear**。**listen to** は「注意を払って聞く」。

解答例① Some of the conversations at the teller counter are information that you do not want others to hear.

解答例② Conversations at the bank teller's desk include information you do not want others to hear.

3.

- ★ 「第二次世界大戦」は **World War II, the Second World War**。前者には the が付かず、後者には付きます。「～中に」は前置詞の **during**。
- ★ 「終戦後まもなく」は soon after the war, soon after the war ended。soon は副詞、前者の after は **前置詞**、後者の after は **接続詞** です。
- ★ 「食べるものが無い」は there was nothing to eat。「砂糖」は sugar で **不可算名詞**。「特に貴重」は especially precious / valuable / invaluable。invaluable は valuable の強意形。priceless(貴重な)と同じ発想。

解答例 I was born in Tokyo during World War II, and soon after the war, there was nothing to eat and sugar was especially valuable.

4.

- ★ 「日本人の不思議なところ」は複数あるのが常識的なので、英語では **one of the strange things** about the Japanese、**a strange thing** about the Japanese とします。The strange thing は不可。これは「日本人の不思議なところは一つしかない」を含意します。

不思議な

strange(最も一般的な語), mysterious, curious(好奇心をそそる), odd(strange+理解不能), weird(くだけた表現), peculiar(strange よりも強い意味), bizarre(strange よりも強い意味)など。どれでも可。

日本人、アメリカ人などは the Japanese、the Americans など **the+名詞の複数形**です。

- ★ 「いなかを一段下に見る」の「いなか」は **the country(side)**, a rural area。「都会」は **the city**, the town, **an urban area**。「～を(一段)下に見る」は **look down on ~**, see ~ as inferior など。「～するよりも、...したい」は **would rather V₁ than V₂**。他は prefer V₁ing to V₂ing, like V₁ing better than V₂ing など。

解答例 One of the strange things about the Japanese is that they look down on the countryside. The Americans would rather live in a rural area than in New York.

5.

- ★ 「最近の傾向として」は **as a recent trend / tendency**。trend と tendency は個別具体的な「傾向」を表すので、可算名詞です。「～だと言われている」は **It is said that SV**か、**S is said to (V)**。
- ★ 「魚の摂取量」は consumption of fish。consumption で「摂取量・消費量」。consumption には必要ありませんが、基本的に「～の量」を表すには、**the amount of+不可算名詞**、**the number of+可算名詞**を使います。「～が増える、減る」には **increase**、**decrease**。the amount / number of ~の後ろでは **increases**、**decreases**となります。

the amount of CO2 emission 「二酸化炭素の排出量」

the amount of the bill 「勘定の合計額」

the number of students 「生徒数」

the number of cars 「車の数」

- ★ 「野菜だけでなく魚の摂取量」は **not only** vegetable (consumption) **but** (also) fish consumption。**vegetable** は可算、**fish** は不可算です。しかし、今回は **consumption** という名詞を修飾しています。名詞が別の名詞を修飾する場合は、修飾する方の名詞を単数形にします。例) **tourist spots** 「観光地」、**university students** 「大学生」。

あるいは **as well as** vegetable consumption としても可。

解答例 As a recent trend, it is said that not only vegetable but fish consumption of / by the Japanese is decreasing.

6.

- ★ 「趣味」は①気軽にできるもの(映画鑑賞、散歩、旅行など)→ **pastime**、②専門的な知識や技術が必要なもの(ガーデニング、料理、楽器など)→ **hobby** です。読書は①→ **pastime**。「楽しみ」は **fun** で不可算名詞。「その人の」は **your** か **one's**。総称の **one** は堅苦しい響きがあります。

- ★ 「～は...というふうに考える」は **think of O as C**、**see O as C** などを使います。

- ★ 「～しない方が良い」は **You had better not (V)**、**It is better not to (V)**など。「人格が向上する」は **one's character improves / improve one's character**。英語は「**対人的な人格**」(=**personality**)、「**道徳的な人格**」(=**character**)を区別します。

- ★ 「知性が顔に漂ったりする」は、要するに「賢く見える」ということ。「賢い」は **intelligent**。他にも類義語があります。

intelligent=幅広い状況で使える。動物や機械にも使える。

bright=子供、若者に対して使う。

clever=子供に対して使う。大人に対して使うと「ずる賢い」。

wise=知識や経験が豊富で正しい判断ができる、という意味の「賢い」。

smart=アメリカ英語。「賢い」。

解答例 I want to think of reading a book as your pastime or fun. It is better not to believe reading a book makes your character improve or you look intelligent.

7.

- ★ 「ただ S'V'...だからといって、SV~ ではない」は **S not V~ (just) because S'V'..., Just because S'V'... does not mean SV.**

例) I did not marry her just because she was rich.

「金持ちだから彼女と結婚したわけじゃない。」この not は marry her just because she was rich
「金持ちだから結婚した」を否定しています。

Just because you are poor does not mean you must obey others.

「貧しいからと言って他人に従わなければいけない、という訳ではない。」**例外的に because 節が主語(=名詞節)になっています。**通常 of because 節は副詞節。

- ★ 一文目には**主語が明示されていません。**日本文で主語が明示されていない場合、それは**読者一般**をさしていることが多いです。その場合、**英語では you を主語にします。**
- ★ 「時間を無駄にする」は **waste one's time.**「いかに有意義に時間を使うかということ」が二文目の主語。これは **How 疑問詞節。**「有意義に」は **meaningfully, productively, wisely.** how を「(いかに →)どれくらい(程度)」という意味で使う場合は、how meaningfully のように **how と形/副をつなげて使います。**「人間形成」は人格陶冶と同じ意味でしょう。「人格陶冶」は **building / forming character** 或いは **character formation.**この character の使い方に関しては前問を参照。

解答例

You must not waste your time just because you are young. How meaningfully you use your time is important for character formation.